指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語会話	2	第３学年	啓林館「Sailing　English Conversation」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、外国人講師と日本人教師の２名で行います。“Sound Practice”として日本人の苦手とする発音の練習や、英語独特の言い回しをクイズ形式で学ぶ“ABC Quiz”などを毎時取り入れ、楽しみながら生きた英語を学んで欲しいと思っています。リーディングテストやインタビューテストも随時行います。“Show and Tell”（物を見せながら英語で説明する）や、“Debate”(英語での討論)などの様々なアクティビティーを通じて、自分の思い、意見を英語で表現する力を養います。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語会話」（選択２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ発表することができる。 ・身近な問題であれば要点をまとめながら１分間程度で話すことができる。	英語会話 スピーチ インタビューテスト	・与えられたテーマについて論点や根拠などを明確にしながら書くことができる。 ・文章の構成を意識して書くことができる。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に伝わるように書くことができる。	英語会話 ライティング課題 定期考査	・まとまった文章を聞いて情報や考えなどの概要を正確に理解することができる。 ・教師による英語でのまとまりのある発話を理解することができる。	英語会話 リスニングテスト 定期考査	・パラグラフのつながりや文章全体の構成を理解して読める。 ・説明、評論、物語、随筆などを読み情報を正確に理解できる。	英語会話 音読テスト 暗唱テスト

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを様々なアクティビティーで評価。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を各種プレゼンテーションなどで実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標をリスニング、インタビューテストなどで評価。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
UNIT１ UNIT２ １学期 （18 時間）	・English Around the World ・ People Around us ・What Day is Convenient for you? ・How Was Last Sunday? ・Could I have an Extra Blanket?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・さまざまな人の自己紹介を聞いて必要な情報を得る。 ・学校生活について T-NETに質問したり答えたりする。	・自分がクラスのみんなに紹介したい人について、英文の原稿を書き添削を受ける。その人の写真をPPWで見せながら、前に出てクラスの他の生徒に紹介する。	・字数や内容を見て、自分の英語力で文章を書く意欲、表現する意欲を評価する。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物で評価する。 ・音読の小テストを行う。 ・プレゼンの出来栄えを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりする。	・Ｔ－ＮＥＴとの Interview Test を実施。 ・日本人教師との Speaking Test を実施。	・正しい英語や文法にこだわらず、聴衆を引き付ける内容や、自己を表現しようとする attitudeを特に評価する。	・定期考査、提出物、発表、実技テストで評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・正確さ（リズム・イントネーション・文法・情報の内容） ・適切さ（場面に応じた表現・声の大きさ・速さ	・１グループ４名となり、摂津高校のことを様々な角度から紹介する。	・発表の際に使用する material の内容や、これまでに学習した発表の仕方のポイントを抑えているかで評価する。	・定期考査、提出物、発表、実技テストで評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その文化も理解する。	・１グループ4名となり、Ｔ－ＮＥＴの自己紹介を聞き、その内容を理解し質問を考える。日本の高校と外国の高校の違いについて学ぶ。	・ネイティブの英語を正確に聞き取れているか。 ・自分たちの言いたいことを適切な英語で表現できているか。	・定期考査、提出物、発表、実技テストで評価する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
UNIT２ ２学期 （21 時間）	・How Can I Get There? ・Who's Calling, Please? ・Let's make a commercial	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・道案内ができようになる。	・Ｔ－ＮＥＴの指示通りたどり着けることを目標とする。また指示された場所への案内を英語で指示する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物で評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・電話での応対をより深める。道案内ができようになる。	・電話での定番の会話を先ず学び、その後与えられた場面に対応してその場で文章を作り、英語で会話できるようにする。	・発表時における、内容で判断する。的確な応対ができているか、場面設定に応じた対応ができているかなどを見る。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・提出物で評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・グループで、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	・グループで商品をそれぞれ選び、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	・面白く人をひきつけるコマーシャルになっているかどうかを、生徒同士で評価させる。	・発表を教師と生徒で評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・グループで、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	・グループで商品をそれぞれ選び、英語のコマーシャルを作成し、発表する。	・面白く人をひきつけるコマーシャルになっているかどうかを、徒同士で評価させる。	・発表を教師と生徒で評価する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
3学期 (　5時間) 教科書使用せず	ディベート	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・１つのテーマに対し賛成・反対それぞれの立場から主張を作り上げていく。	・先ずは２人でのマイクロディベートから始め、その後４人グループでそれぞれの立場での主張を話し合い、英語で作り上げていく。	・ペア・ワークやグループワークにおいて、互いに協力しながら話し合えているか。	・ペアやグループでの言語活動を観察する。 ・発表を教師、生徒で評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・１つのテーマに対し賛成・反対それぞれの立場から主張を作り上げていく。	・説得力を持たせ、理論的に主張を展開するための有効な表現方法を学ぶ。	・スクリプトを提出させ、その表現方法などが適切であるか。	・スクリプトを提出させ、添削を行う。 ・発表を教師、生徒で評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・１つのテーマに対し賛成・反対それぞれの立場から主張を作り上げていく。	・これまでに学んできた英語の表現を盛り込み、論旨に沿った表現を目指す。	・スクリプトを提出させ、その表現方法などが適切であるか。	・スクリプトを提出させ、添削を行う。 ・発表を教師、生徒で評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・１つのテーマに対し賛成・反対それぞれの立場から主張を作り上げていく。	・日本語特有のあいまい表現ではなく、ひとつひとつ具体的な理由を挙げて論理的に主張する論法を学ぶ。	・スクリプトを提出させ、その表現方法などが適切であるか。	・スクリプトを提出させ、添削を行う。 ・発表を教師、生徒で評価する。